



NPO法人 ITでマザル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジド

HSK 札チャレ通信

おはよう（朝の意味）



右こぶしを
コメカミに
あててから
下ろす

札チャレ通信
手話講座①
～おはようの挨拶～

おはよう（挨拶として）



両手の
人差し指を
おじぎさせあう

目次

- 02..... 札チャレ通信 変更のお知らせ
- 03..... 札幌チャレンジド トピックス
- 04..... 移行支援グループ紹介
- 07..... A 型グループ紹介
- 09..... 講習グループ紹介
- 12..... 会費・寄付の納め方

昭和 48 年 1 月 13 日第 3 種郵便物承認 HSK 通巻 613 号 Vol.254

発行:2023 年 4 月 10 日発行

編集:〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地北苑ビル 2 階

NPO 法人 札幌チャレンジド TEL:(011)769-0843

発行:HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

定価:30 円(年会費に含まれる)



『札チャレ通信』変更いたしました

いつも「札チャレ通信」をご愛読いただき、ありがとうございます。

先々月よりお知らせをしておりました『札チャレ通信』の変更を、今月号より実施いたしました。

ご覧いただき「どこが変わったの？」とおっしゃる方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に変更点等をお知らせいたします。

【札チャレ通信の変更点】

<発行サイクル> : 年4回の発行といたします。(従来は年11回の発行)

<発行月> : 4月号・7月号・10月号・1月号の3か月毎となります。

<掲載内容> : 1) 札幌チャレンジド全体でのトピックス

2) 札幌チャレンジドの3つの事業グループの活動紹介

①就労グループ: 就労継続支援 A 型事業

②移行グループ: 就労移行支援事業

就労定着支援事業

③講習グループ: 札チャレパソコン・タブレット講習事業

放課後等デイサービス事業

札幌市障がい者ICTサポートセンター事業

3) 皆様への「お知らせ」

など、札幌チャレンジドが活動しています様々な情報を、

「必要としている方々に」、「必要な情報」を提供していきたいと考えています。

【情報提供の変更点】

札幌チャレンジドのご利用者やお取引先をはじめとする、事業活動によって影響を受けるすべての皆様との関係をより良好に保つため、及び札幌チャレンジドの活動情報を新たに必要としている方々に提供するために、「Twitter」、「Instagram」、「ブログ」等の SNS での広報活動の展開も進めていきます。

【送付先など】

送付先につきましては、当面は従来通りの皆様に送付させていただきますが、情報内容の変更に伴い「必要としている方」へお渡しできるようにしたいと考えています。

以上、変更後も皆様の反応や評価を参考にして修正を進めていきますので、これからも「札チャレ通信」のご愛読と、記事内容等へのご要望をいただければと思います。

『札幌チャレンジド』トピックス

I. 『環境広場ほっかいどう 2023』に札幌チャレンジドが出展いたします

札幌チャレンジドは、G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合開催記念イベントの「環境広場ほっかいどう 2023」に出展することとなりました。

環境広場ほっかいどうは、環境問題を中心に SDGs の視点も取り入れた社会問題解決を目指す展示会としての開催であり、札幌チャレンジドは『キャリア教育ゾーン』で SDGs の取り組みの一部を紹介いたします。



《札幌チャレ展示概要》

障害のあるこどもたちに「PC とコミュニケーション」で一人ひとりのキャリアをデザインする力を育てます。をテーマに、講習グループが中心となり、放課後等デイサービスの新たなコースや、視覚支援パソコンなどをご紹介します予定です。

【環境広場ほっかいどう 開催概要】

- ・開催日時： 2023年4月15日(土)・16日(日) 10:00～16:00
- ・会場： 札幌ドーム(札幌市豊平区羊ヶ丘1)
- ・入場料： 無料

是非多くの方の来場いただき、札幌チャレブースをのぞいてみてください。

II. 『札幌チャレラジオ通信』のお知らせ

札幌チャレラジオ通信は、コミュニティーFM「三角山放送局」様のご協力のもと、各グループのスタッフが交代で、札幌チャレンジドの活動などを、ゲストをお招きしながらお伝えしていく番組となっています。



《札幌チャレラジオ通信の放送日時》

放送日：毎月 第4土曜日 14:00～15:00 の1時間

再放送 その日の 夜 23:00～24:00

《札幌チャレラジオ通信のおすすめの聞き方》

その1： 三角山放送局 76.2MHz で聴く

その2： スマホの無料アプリ「ListenRadio」(リスラジ)をダウンロードして

①チャンネル ⇒ ②カテゴリー→全国のラジオ局 ⇒ ③北海道 ⇒

④三角山放送局 を選んで再生



《今後の放送予定》

- ・4月22日(土)14:00～15:00 担当：理事長(加納)
- ・5月27日(土)14:00～15:00 担当：就労グループ
- ・6月24日(土)14:00～15:00 担当：講習グループ

移行支援グループ紹介

「就労移行支援・就労定着支援サービスの紹介」

移行支援グループ スタッフ
金澤 美希(かなざわ みき)

～就労移行支援サービスの紹介～

一般企業への就職を目指す方に対し、企業への就職に向けた訓練、職場実習などを通して、就職するためのサポートを行っています。視覚障がいのある方には PC-Talker を使ったパソコン講習なども行っています。

札幌チャレンジドでは、様々な訓練を通して自己肯定感を高めることや、一人ひとりの「できること」を伸ばすことなどを大切にしています。

◎ご利用対象者

障がいのある方または難病等対象者で、企業への就職を目指す方

◎ご利用期間

24 か月(最長 2 年間)

◎訓練プログラムの内容

- ・パソコン講習 (Word、Excel、PowerPoint、Zoom、teams、動画編集など)
- ・コミュニケーション講習
- ・ビジネスマナー
- ・グループワーク
- ・実務訓練 (データ入力、ピッキング、封入作業、テープ起こしなど)
- ・就活 (応募書類の書き方、面接練習など)
- ・余暇プログラム (ウォーキング、映画鑑賞、アロマ体験など)



講習の様子



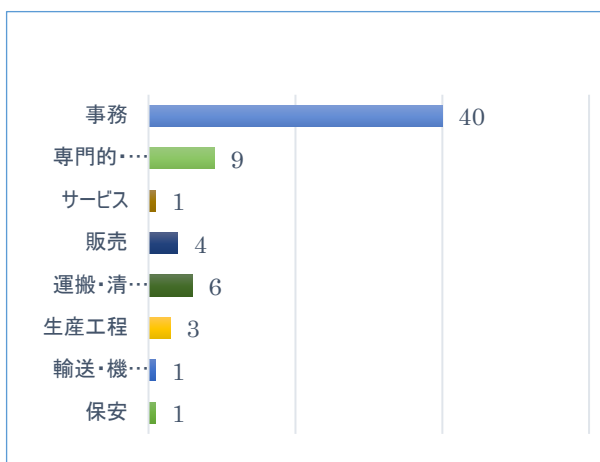
アロマで石鹸づくり

◎就職実績(令和5年〇月現在)

就職率は96.2%(※直近5年間で一般就職を希望した人の就職率)となっており、毎年多くのメンバーが就職をし、社会で活躍しています。

職種としては事務職が最も多くなっておりませんが、ご本人の「得意なこと」や「できること」、「やりたいこと」とのマッチングを大切にして就職活動をサポートさせていただいています。

就職後6ヶ月間はご本人や就職先企業の上司、採用担当者などとの定期的な面談を行い、職場に定着することができるようサポートします。



～就労定着支援サービスのご紹介～

定期的な面談などによって長く働き続けるためのサポートをさせていただいています。また、企業の担当者の方からのご相談にも対応しています。

その他にも、就職者同士の親睦会を開催しています。

直近2年間の職場定着率は83.3%となっており、安心して長く働き続けることができます。

◎ご利用対象者

就労移行支援等を利用した後、通常の事業所に新たに雇用された障害のある方で、就労を継続している期間が6ヶ月を経過した方

◎ご利用期間

最大3年間(就労移行支援サービスによる定着支援期間(6ヶ月間)を除く)

～SNS アカウントのお知らせ～

このたび、就労移行支援グループの公式 Twitter アカウントと Instagram アカウントを開いたしました。事業所内の様子・活動報告・スタッフのつぶやき等、様々な情報を発信していきます。

下記 QR コードをスマートフォンのカメラで読み取ると、アクセスができます。

是非お気軽にご覧ください。



Twitter
@s_challengediko



Instagram
@s_challengediko



見学・体験は随時受付中です！

お気軽にお問い合わせください



《お問い合わせ・お申し込み》

NPO 法人 札幌チャレンジド 移行支援グループ(大山・中川・金澤)

電話:011-769-0986(直通) FAX:011-769-0842

mail: challenged@s-challenged.jp

「就労継続支援 A 型サービスの紹介」

就労グループ スタッフ

～就労継続支援(A 型)サービスの紹介～

就労継続支援 A 型は、障がいや難病のある方が、雇用契約を結んだ上で一定の支援がある職場で働くことができる福祉サービスです。

札幌チャレンジドの場合は、非雇用契約からスタートし、働く環境や業務に馴染み、安定して働けるようになってから雇用に切り替える仕組みを構築し、メンバー一人ひとりの障がい特性を理解した上で、継続して働きやすい業務の配置・対応・環境づくりに努めます。

事情により継続的に「通所」ができない理由がある方については「テレワーク就労」「通所／テレワーク混合」などの個別調整も検討します。(ご希望に添えない場合もございます。)

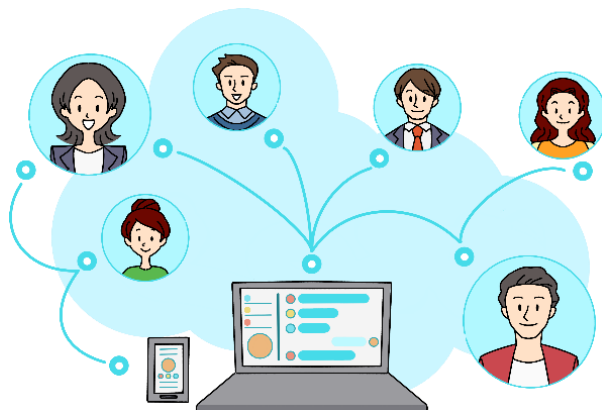
◎ご利用対象者

企業等に就労が困難な者であって、雇用契約に基づき継続的に就労することが可能な、利用開始時 65 歳未満の方。具体的には以下の様な方が挙げられます。

- ◆就労移行支援事業を利用したが、企業等の雇用に結びつかなかった方
- ◆特別支援学校を卒業して就職活動を行ったが、企業等の雇用に結びつかなかった方
- ◆企業等を離職した方など、就労経験のある方で現在雇用関係がない方

◎業務内容

民間企業 12 社より、動画サイト監視業務・サイト更新入力・web アクセシビリティ検査業務・イラストデザイン業務・海外航空券予約サイト DB 入力業務・アノテーション業務などを定期的に受託しています。基本的にはワークシェア型業務が中心です。



◎就労グループを知っていただくための参考資料

【 Microsoft Teams 導入事例:NPO 法人 札幌チャレンジド】

Microsoft Teams をつけた業務コミュニケーションについて、Microsoft 様のホームページに掲載されました。URL: <http://msft.it/6181nFnTU>



マイクロソフト 札幌チャレンジド



障害を持ちながら社会参画を目指す就労を支援
そのコミュニケーション基盤として
Microsoft Teams を積極活用

【第一回優良 A 型事業所(2020 年)(NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会)】

A 型事業所の模範となる事業所であると本審査会で NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会様に認定いただきました。

URL: <https://zen-a.net/yuryo>



《お問い合わせ・お申し込み》

NPO 法人 札幌チャレンジド 就労グループ(佐藤・千葉・高井・上野・岡野)

電話:011-769-0987(直通) FAX:011-769-0842

mail: challenged@s-challenged.jp

放課後等デイサービス

2023 年度～

キャリアデザインコース 開始!

「PC」×「コミュニケーション」=キャリアをデザインする力を育てます
就労支援事業の実績を元に、卒業後の「働く、就労」に向けて支援します

高校生
対象

キャリアデザインコース

～パソコンとコミュニケーションのトレーニングで就労に備えます～

パソコン	①実務 PC	より就労実務に向けた内容に特化します。
実務で必要とされるパソコンの技術(エクセル、ワード)を指導します。	②検定対策	利用学校で実施の検定試験に対する対策です。
	③模擬検定試験	試験会場での受験を想定し、他の受験者といっしょに模擬試験を実施します。
	コミュニケーション	①コミュニケーションスキル・トレーニング(CST)
	②ソーシャルスキル・トレーニング(SST)	「聞く」「伝える」技法のトレーニングを経て、社会生活を円滑に営んでいくためのスキルを身に付けます。

実習・就労体験ができます (希望と適性により)

～札幌チャレンジドが実施する、2つの就労支援サービスを体験することができます。～

①札幌チャレンジド 就労移行支援サービス

主に一般就職を目指す方に向けた職業訓練事業です。

パソコン教育とコミュニケーションスキル習得に特化した訓練を実施しています。

②札幌チャレンジド 就労継続支援(A型)サービス

札幌チャレンジド創設以来の理念「パソコンで社会参加」が結実した、働く場としての A 型事業所です。パソコンを使う仕事の実験が体験できます。

《お問い合わせ・お申込み》

NPO 法人 札幌チャレンジド 放課後等デイサービス 担当:飯村・城後・金村
電話:011-769-0843(代表) FAX:011-769-0842 Mail:houday@s-challenged.jp
☆SNS アカウント更新中です。インスタグラムとブログをチェック!
右の QR コードをスマートフォン、タブレットのカメラで読み込み、アクセスしてください☆



日本郵便年賀寄付助成金事業 活動内容・報告

視覚障がいの中高生のためのパソコン活用によるQOL向上促進事業

講習グループ スタッフ

林 裕岐（はやし ゆうき）

2021 年度、2022 年度と、日本郵便年賀寄付助成金事業として、「視覚障がいの中高生のためのパソコン活用によるQOL向上促進事業」を行いました。

この事業は、児童・生徒がパソコンなどに触れる機会を増やして、ICT 機器を使った生活の質の向上、将来の選択肢を増やしていくことを目的としています。

週一回程度、北海道札幌視覚支援学校の「自立活動」の時間に伺い、希望する児童・生徒とパソコン・タブレットの講習を行いました。

2021 年度は高校生 2 名、2022 年度は高校生 3 名、小学生 6 名が参加しました。

講習の内容としては、主に、Windows、や iPad のアクセシビリティ機能、PC-Talker（音声読み上げソフト）の使い方、児童・生徒の見え方の違いや年齢や習熟度に応じ、それぞれに合った形で機器を使うようにしていきました。

ボランティアさんや先生にもサポートしてもらいながら、進めています。

小学生で、初めてパソコンに触れる方や、高校生で大学進学を目指し、大学での勉強にパソコンを利用しようという方や、自己表現の方法の一つとして利用する方など、それぞれの目標に合わせ、子どもたちが、パソコンなどの機器を使うことができる喜びや、その先にあるコミュニケーションの拡大などに寄与できればと思っています。

また、学校でパソコンを使う、教える事は、児童・生徒のスキルアップだけでなく、専門外である先生方の負担軽減、スキルアップも課題として存在しているように見えます。こうした課題には特に学校外のリソースを利用することへの期待が大きいかもしれません。

デジタル化することで、今後もできることが増える可能性が増え、社会の障壁が低くなることを期待して、2023 年度も引き続き、児童・生徒、先生方、ボランティアさんとともにスキルアップできるよう取り組みたいと思います。

視覚障がいの方にお勧めのソフト・アプリ紹介」(4)

講習グループ スタッフ

篠原 光陽 (しのはら こうよう)

視覚に障がいのある方へのパソコン講習を担当している篠原です。私自身が全盲です。

ここでは不定期連載として、視覚に障がいのある方がパソコンあるいはスマートフォンで利用するソフト、私が便利と思っているソフト・アプリを紹介させていただきます。

■商品名: MyMail V (マイメール ファイブ)

①開発元: 株式会社高知システム開発

②価格: DVD 版 20,000 円(税込み 22,000 円)、Web 版 18,000 円(税込み 19,800 円)

今回は「MyMail V (マイメール ファイブ)」について紹介させていただきます。

MyMail V は、少ないキー操作で、受信メールの読み上げ、新規メールの作成、アドレス帳の閲覧、登録更新などを行うことができます。

多くの方が Microsoft 社の Outlook (アウトルック) を利用されていますが、こちらのメールソフトは MyMail V とは違い、受信メールの読み上げだけでも複数のキー操作 (上下左右の矢印キー、タブキーなど) が必要になります。

MyMail V は、基本的に上下左右の矢印キーのみでメールボックスを選択したり、ボックス内のメール一覧をたどって本文を閲覧することができ、とても簡単に操作できます。

また、HTML メールでは、視覚に障がいのある方がメール本文を読みやすくするために、本文内の文字のみを自動的に抽出して、テキストメールに変換しますので、初心者の方でも混乱なく利用できます。

ほかにも、ドコモメールや au で利用しているメールアドレスを MyMail V に設定しておくことで、スマートフォンでメール確認ができなくてもパソコンを起動すれば簡単に確認することができます。

これからメールを始める方にとっては、とてもやさしいソフトです。



会費・寄付の納め方

1. 郵便振替

郵便局においてある振替用紙でお納めいただく
(1,000 円の場合は窓口手数料 203 円、ATM 手数料 152 円)

<振込先> 口座番号 02750-5-1346
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド」

2. 銀行振り込み

(北洋銀行から 1,000 円を振り込む場合、手数料 110 円)

<振込先> 北洋銀行 札幌西支店 普通 3966083
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納尚明」

3. 現金書留で送っていただく

4. 札幌チャレンジドの事務所にお持ちいただく

5. 訪問講習を受けている方は、訪問講師にお預けいただく

いつもありがとうございます



HSK 札幌チャレンジド通信

昭和 48 年 1 月 13 日第 3 種郵便物承認

発行:2023 年 4 月 10 日 HSK 通巻 613 号 Vol.254

「札幌チャレ通信」

次号発送予定日

6 月 30 日 (金)